

愛称：古河公方公園 **てくてく情報** 2017年1月号：冬景色

2016年1月号にて、この公園の「四季の風景」をご紹介致しましたので、今回は「冬景色」特集します。

雪景色の御所沼



霧に煙る星湖釣殿



水抜き後



雪華園



民家園



天神橋



富士見塚



桃林



茶畑



日の出



御所沼



上空の雲



ジェラテリア



富士見塚から



管理棟



愛称: **古河公方公園** **民家園** てくてく情報 2017年2月号

冬: 民家園の雪景色



春: ジンチョウゲ



春: スモモ



春: 乙女椿



春: カイドウ



春: ヤエザクラ



春: フジ



地図



春: シャクナゲ



夏: サルスベリ



秋: キバナコスモス



秋: キンモクセイ



秋: サザンカ



秋: ドウダンツツジの紅葉



秋: 紅葉



愛称: **古河公方公園** **てくてく情報** 2017年**3月号** **花桃**特集

2017年3月18日(土)～4月5日(水)が桃まつり期間中です。

開花順: 矢口→源平・寿星桃・寒白→菊桃(4月中旬)まで。

矢口: ピンク(全体の8割)

菊桃: 赤

菊桃: ピンク



黒川矢口: 赤 (希少)



・源平は白(源氏)と紅(平家)の花を、同じ木に咲かせます。年により、どちらかが多かったり単色だったり、源平合戦のごとく競うように咲くことが、この名前の由来といわれています。

天津: ピンク



源平: 白とピンク



寒白: 白 (希少)



寒緋: ピンク



源平: 白(源氏)と紅(平家)



寒白: 白 (希少)



アーモンド(モモ属): 薄いピンク



寿星桃: 白



寿星桃: 赤・ピンク



愛称: 古河公方公園 **てくてく情報** 2017年4月号 **桜**特集

4月5日(水)で桃まつりが終了します。桃から桜へと主役がかわっていきます。

枝垂れ桜



枝垂れ桜



枝垂れ桜



イヌザクラ (1本、遅咲き)



ヤマザクラ



ウワミズザクラ



染井吉野



八重桜



八重桜



八重桜



左: 彼岸桜、中央: 寒緋桜



彼岸桜 (1本、早咲き)



(2本、早咲き) 寒緋桜



愛称: **古河公方公園** **雪華園** てくてく情報 2017年5月号

今年の3月号は、この公園を代表する「花桃」を、4月号では「桜」を特集し、ご紹介しました。

昨年5月号は、5月にどんな花が園内のどこで咲くのか矢印で示しました「5月の花MAP」を作成しました。

今回の5月号では、四季折々に美しい花や風景が見られる「雪華園」を特集します。

四季を通じて、色々な表情を見せてくれますので、訪れる価値はありますよ。是非ご覧下さい。

春: シダレザクラ



春: フジ



春: ヤマブキ



春: ボタン



春: ノイバラ



夏: キキョウ



夏: ギボウシ



雪華園の周辺地図



夏: キョウチクトウ



夏: ネムノキ



夏: ノウゼンカズラ



夏: ホタルブクロ



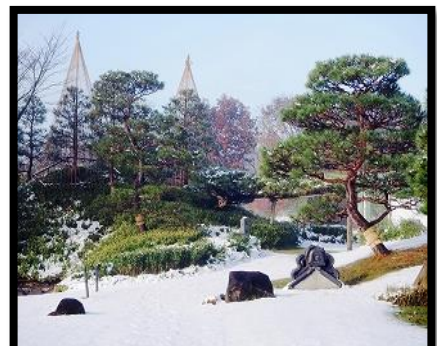
夏: ビックリグミ



秋: キンモクセイ



冬: 雪景色



愛称: **古河公方公園** **てくてく情報** 2017年6月号 **石碑** 特集 **2**

昨年11月に、この公園を「代表する石碑」をご紹介しました。これから、数回に分けて全ての石碑を紹介していく予定です。

石碑特集の第二弾として、「御所沼」など、公園の「中央部」に位置する「石碑」と「6月の花」を紹介致します。

まくらが浜



雪華園



御所沼



おみたらせの清水



鴻巣の一本榎



園中央部の地図



二入川



キョウチクトウ



6月頃、公園の中央部に咲く花

ヘメロカリス



ノイバラ



ネムノキ



次回は、公園の「南東部」に位置する石碑を紹介する予定です。みなさんも、「てくてく」歩いて探してみませんか。

大輪の大賀蓮花

古河公方公園の夏の代表選手は、もちろん「大賀ハス」です。

この大賀ハスは、2000年前の地層から発掘された実が発芽したもので、1975年に千葉市からハスの根2本を頂きました。植えられた大賀ハスは、その年の夏に花を咲かせ、その後、大賀ハス池は拡張され、現在では総面積3000㎡になっています。

ハスの花は、深夜から開き始め、朝7時～9時頃にお椀型に満開、花の姿は最も美しくなって、正午頃には完全に閉じてしまいます。6月下旬～8月上旬が開花期間ですが、最盛期は7月中旬ごろです。ご覧になりたい方は、これからの暑い時期、まだ涼しい早朝に散歩をしながらハスの鑑賞はいかがですか？



大賀ハス

懐かしい農の風景



御所沼の南側斜面にある田んぼ『ホツケ田』では、公園で活動している『どろんこクラブ』が田植えを行い、稲は順調に生育し、今後は草取り、稲刈りと進んでいきます。昔からこの湿地で田を作っていた人達の歴史を再現した農の風景の中、米づくりを体験する機会は、いい経験となることでしょう。

ミソハギの花



蓮池の近くには『ミソハギ』(別名精^{しょうりょうばな}霊花)が咲いています。ラベンダーと似ているため、よく勘違いされる方がいますが、実は日本に昔からある花なのです。昔は、田んぼの畔^{あぜ}や、水辺などに自生していました。お盆の時期に沢山咲くことから、お盆の仏様へのお供えの花として良く使われていたそうです。

●暑い夏、公園の「涼」を探して・・・

①目洗弁天池からせせらぎに沿って中山台へ



目洗弁天池からの園路は桃林の中なので木陰になっています。中山台から流れるせせらぎも相まって、より涼しく感じられます。



②チャブチャブ楽しい中山のせせらぎ



やっぱり水遊びは外せませんね。大人気のガッチャンポンプで遊ぶと昔の生活も学べます。一昔前までは、こうして井戸水を汲み上げるのが一般的でした。



元気に水遊びをする子どもたちを見ただけで、大人は涼しくなれますね。もちろん入っていただいても大丈夫ですよ（笑）

③公方様の森で野草や昆虫との出会い

中山台から管理棟の脇を抜け公方様の森へ。園路の南側が森ですから、ずっと日陰です。天神橋の方へ進み、古河公方館跡へと続く園路の辺りに生えている



のが「ヤブミョウガ」。葉がミョウガに似ていることから、その名がついたようです。



④先人の知恵が詰まった古民家

古民家の土間へ足を踏み入ると、外よりヒンヤリ感じます。茅葺き屋根と土壁は、熱を遮るだけでなく、湿度も調節し、白い外壁は日光を反射してくれます。



扇風機もエアコンも無い時代、先人たちは知恵を絞って環境と向き合ってきたんですね。



憧れの昆虫「ノコギリクワガタ」いつの時代も男の子は夢中です。

せっかく公園に来たなら、スマホの画面を見つめてモンスター探しなんてもったいない！

▼この時期は「スズメバチ」が活発化してきます。散策の際は十分お気をつけください。また、ハチを見つけたらすぐに管理棟までお知らせください。

●暑い夏もできるだけ涼しく、公園を楽しんでください。てくてく情報、次号もお楽しみに！

●近づく、秋の足音・・・

①～② 秋の七草を探してみよう

まずは民家園を横目に南へ。園路沿いはたくさんハギが咲いています。およそ200m弱程続いています。途中で左に曲がって、こぶし野、つつじ山方面へ向かいましょう。



②のあたりは野草がたくさん生えています。背が高く鮮やかな黄色のオミナエシがお出迎え。カワラナデシコやフジバカマは足元を探してください。

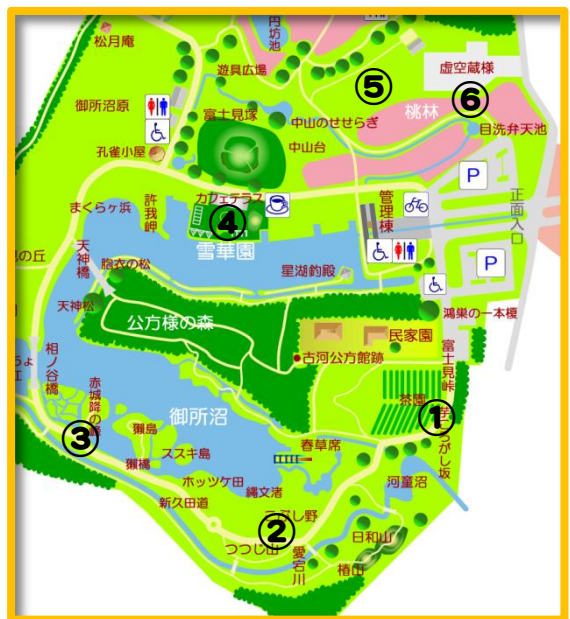
この付近に多く見られるクズは、万葉集にも多く詠われ、根は葛粉や漢方の葛根湯として、つるは作業用や籠を編んだり、繊維を葛布として利用するなど、生活に密着した植物でした。繁殖力が高く、他の植物に覆いかぶさって成長を妨げるため、現代では世界の侵略的外来種ワースト100に選定されています。時代や地域性によって人間の生活との関わりが薄くなり、増えすぎて有害とみなされてしまうのは、なんだか少し気の毒に思えますね。



～秋の七草の覚え方

お おみなえし(女郎花)
す すすき(芒、薄)
き ききょう(桔梗)
な なでしこ(撫子)
ふ ふじばかま(藤袴)
く くず(葛)
は はぎ(萩)

▲頭文字を取って「お好きな服は」と覚えます。他にも「ハスキーなお袋」というちょっと面白い覚え方もありますよ。



③～④ 七草を求めて、ススキの小径から雪華園へ



グミの木を過ぎると、少しクネクネ「ススキの小径」です。両側がススキで、さながら巨大迷路。

相ノ谷橋を渡り、御所沼を右手に園路を右方向へ進めば、ジェラテリアの南側が雪華園です。ここにはキキョウとタカノハススキというススキの園芸種があります。葉の縞模様を確かめてみてください。決して病気ではありませんので、ご安心を(笑)

■外来種こぼれ話

クズと同様に日本から世界に広まった世界の侵略的外来種ワースト100には、イタドリがあります。これも茎を食用、根は薬として、若葉は揉んで止血にと使われたそうです。意外なところではワカメ。海外ではほとんど食べられないようです。



⑤コスモス畑はメルヘンの世界



春に菜の花があったこの場所は、秋になるとコスモスに模様替え。ここを歩けば、老若男女問わず乙女チックな気分(笑)

コスモスの中央にスーッと頭を出しているのはパンパスグラス。シロガネヨシ、または西洋ススキと呼ばれますが、ススキ属ではありません。



⑥どこかミステリアスな彼岸花



コスモス畑から虚空蔵様寄りの細い園路を通して目洗弁天池へ。鮮やかな赤い彼岸花はこの付近にたくさん咲きます。虚空蔵様側には白い花も見られるかもしれませんよ。他にもあちこちに少しずつ咲いていますので、探してみてください。

●徐々に季節は夏から秋に変わっていきます。てくてく情報、次号もお楽しみに！

●スポーツの秋、公園散歩のススメ

過ごしやすい秋は行楽、スポーツに最適な季節です。今月のてくてく情報は「公園散歩のススメ」として、約2キロ、時間にして約30分のお散歩コースをご提案します。赤矢印 ・・・ がルートです。青矢印 ・・・ は寄り道ルートですので、余裕があったら回ってみてください。

① 管理棟から出発、準備体操も忘れずに！

管理棟から東（正面入口）方向へスタート。左手の石垣にはヤブランと白くてかわいいタマスダレが目線の高さに咲いています。



④ 元屋敷の桃林を抜けて蓮池へ

せせらぎから桃林のあたりは適度に起伏があり、良い運動になります。余裕があったら、ぜひ「徳源院跡」へ。第5代古河公方足利義氏の息女・氏女の法号から徳源院と称された寺の跡で、現在は「古河公方足利義氏墓所」として県指定文化財となっています。

⑥⑦⑧ 散歩も折り返して後半の南エリア

ススキの小径を抜けると左手に見えてくるのは獺橋。除草も終わりましたので、ちょっと寄り道して獺島とススキ島にも立ち寄ってみてください。橋が細いのでお気をつけて。童心に帰って探検気分です。

●出逢えるかも！？その1

獺島、ススキ島には鴨の群れが休憩していることがよくあります。愛らしい姿に癒やされますよ。



疲れたら⑦にあるベンチで一休み。ここからこぶし野、春草席のエリアを眺めるのも良いですよ。仙人池に近づくと、向こうには白壁の旧中山家が顔を覗かせます。

●駐車場では一足早い紅葉がお出迎え

本格的な紅葉はまだ先ですが、駐車場ではトチノキとカツラが色づいています。特にカツラは丸い葉にキレイな黄色が素敵ですね。紅葉はまた来月に改めて紹介予定です。



②③ おみたらせの清水を越えて

目洗弁天池まで行かずに、おみたらせの清水を渡りましょう。石碑が目印です。渡ったら左へ。コルチカムがひょこっと咲いています。コスモスも見頃ですよ。



⑤ 日差しが気持ちいい！

木陰はあえて通らずに、爽やかな秋の日差しをたっぷり浴びて芝生広場を縦断してみましょう。余裕があったら青矢印ルートで遊具広場へ。バランス運動の吊橋遊具がおすすめ。富士見塚も登って眺望を楽しんでください。



⑨⑩ 公方様の森を通り抜け、御所沼沿いを管理棟へ

芋ころがし坂を登ってちょっと寄り道。民家園の東側入口から入ってすぐ、キバナコスモスをひと目ご覧あれ。



公方様の森は中央の園路を抜けてください。南側はスズメバチが蜜を吸いに来る木があるため通行止めになっています。森を抜けたら天神橋は渡らずに、右の細い坂を降りて管理棟へ。約2キロの散歩もゴールです。

●出逢えるかも！？その2

御所沼の中洲と星湖釣殿近くの舟にも鴨の姿を見かけます。アオサギとも仲良しですよ。



●朝晩は肌寒くなり、秋も本番です。てくてく情報、次号もお楽しみに！

●徐々に色づく公園の木々。紅葉を楽しむ。

10月は長雨と台風で思うように秋を楽しめず、なかなか行楽とはいかなかったのではないのでしょうか。紅葉のシーズンになり、公園の木々も色づいています。遠くに行楽地もいいですが、近くで紅葉を楽しみましょう。(掲載している写真は、最近撮影のものと去年のものがあり、実際の紅葉具合とは異なる場合がありますのでご了承ください。)

● 紅葉といえば、やはりモミジです

モミジは園内にたくさんありますが、数が多いのは目洗弁天池周辺①です。②の周辺、雪華園や富士見塚の西側にも点在します。中でも目立つのは許我岬の1本ですね。



イロハモミジ (許我岬)

虚空蔵様の前には大きなイタヤカエデがあります。これは紅ではなく黄色に「黄葉」する種類です。カエデもモミジも同じムクロジ科カエデ属で分類上は同じですが、特徴によって呼び方を変えています。アジアを中心に約128種もあるそうですよ。



イタヤカエデ

● えっ？カエデ、モミジじゃないの・・・？

⑦の駐車場に数本あるモミジバフウは、写真の通りカエデによく似た葉をしています。紅葉葉楓と書き、「楓」の字がつきますが、これはフウ属の一種です。カエデの仲間にはプロペラ状の「翼果」を付しますが、フウ属は、トゲのある球体の集合果を付けるのが大きな違いです。



モミジバフウ (紅葉葉楓)

● 雑木林のグラデーション

樹木ごとに紅葉を見るのも良いですが、少し視点を広げて見てみましょう。



⑥公方様の森南側

黄色からこげ茶色まで、いろんな種類の木々が、それぞれに違った紅葉でグラデーションを見せてくれます。武蔵野の雑木林、古き良き里山の姿です。



③公方様の森北側



●松ぼっくりはどこ？
マップの◎の場所で拾えますよ。



中山台の紅葉 (ケヤキなど)

● 紅葉は他にもたくさん

モミジに負けじと真っ赤に染まるドウダンツツジ。管理棟前の石垣の上や駐車場④を囲んでいます。



ドウダンツツジ



イチョウ

黄葉の代表、おなじみのイチョウは南エリアの茶畑からこぶし野へ向かう⑥の辺りに。その近くの河童沼周辺にイロハモミジがありますが、小さな橋の手前⑥にあるナンキンハゼにも注目。写真はまだ紅葉し始めですが、赤くなっています。



オオバン

今の時期に水辺でよく見かけます。泳ぐと頭がクイクイと前後するのがチャームポイントです。



ナンキンハゼ

●あなたのお気に入りの眺めは？

見方によって、見どころ、楽しみは無限です。南エリアは展望デッキや日和山、つつじ山などの高台も多く、時期や時間帯によっても見える景色は様々です。お気に入りの眺めを探してみてください。



⑧民家園周辺

●少しずつ寒さも増してきて、晩秋を迎えます。てくてく情報、次号もお楽しみに！

●静かな公園に響く、鳥のさえずり。

紅葉が終わり木々の葉も落ちて、本格的な冬の到来です。この時期、静けさの中に響き渡るのは鳥たちの鳴き声。公方様の森を中心に、たくさんの鳥の姿を確認できます。てくてくお散歩しながらのバードウォッチングはいかがでしょうか。今回は公園で見られる鳥の一部をご紹介します。

○ 園内のあちこちで見られる「スズメ目」の鳥たち



ハクセキレイ

■セキレイの仲間、ハクセキレイは水辺のヨシに止まって、穂や茎の中の虫を食べたり、二入川で水浴びをしていたりします。陸を歩くと、尾羽を上下に振る姿がカワイイですよ。セグロセキレイやキセキレイもいますが、縄張り争いで数が減っているようです。



シジュウカラ

■シジュウカラは雑木林や農耕地、公園、住宅地など、全国的にも多く見られる鳥です。お腹の黒い縦線が特徴で、メスと比較してオスは写真のように線が太く、不鮮明で細いのは幼鳥です。2016年3月の総合研究大学院大学の発表によると、単語をつなげて文を作る能力があり、人間に近いコミュニケーションをしているそうですよ。



エナガ

■エナガもシジュウカラの仲間ですが、尾羽まで含めた体長が約14cmほどしかなく、小さな鳥です。他のシジュウカラ科の鳥と混群することもあり、小さな体に似合わず、群れの先導をするそうです。

■冬鳥として渡来するツグミ。よく芝生などでピョンピョン跳ねては止まって餌を探しています。一説には、日本でほとんど鳴き声が聞けないことから、「口をつぐむ」→「ツグミ」と名がついたと言われています。

■スズメより少し大きく、枝に止まって尾を回している鳥がいたらモズです。キチキチと高鳴きをして縄張り争いをします。獲った餌を枝などに突き刺しておく「モズのはやにえ（早贄）」という行動をしますが、理由についてはよくわかっていないそうです。

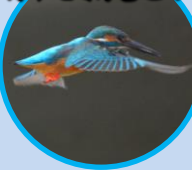


ツグミ



モズ

かわセミはどこ？



なんとなく夏のイメージがあるかわセミですが、留鳥なので冬でも見かけます。マップの◎の辺りで運が良ければ会えますよ。御所沼の水面を飛んでいく鮮やかな姿は「飛び宝石」そのものです。観察、撮影は、警戒させないように、お静かにお願いしますね。



●森のモノマネ王

■スズメ目の中でもカラス科のカケスは、他の鳥の声やチェーンソーなどの音マネが得意。通常は「ジェー、ジェー」と鳴くそうで、そこから「ユーラシアン・ジェイ」という英語名がついています。他の鳥のマネをしていたら、見つけられないかもしれませんね（笑）★印の「駒ヶ崎の森」で会えるかもしれませんよ。



カケス

○ 木を啄（ついば）む鳥「キツツキ目」

■みなさんご存知のキツツキ（啄木鳥）の仲間。公方様の森で探してみましょう。アカゲラのオスは後頭部が赤く、写真のように頭部全体が黒いのはメスです。アカゲラの他に、小さくて茶色のコゲラ、オスメスともに頭部に赤が入り、背中が黄緑色っぽいアオゲラなどがいます。木をつつく動作は「ドラミング」といい、1秒に約20回ほどの速さだそう。1回毎に時速25kmで壁に頭をぶつける程の衝撃があるものの、上手に吸収して頭を保護する体の仕組みなんだそうです。特性に合わせて進化する、動物ってスゴイですね！



アカゲラ

◆水鳥などは、またの機会にご紹介します。

●いよいよ寒さもきびしく、冬本番です。てくてく情報、次号もお楽しみに！